

Q 雨天時・冬期間の屋内の遊び場が少ない

A 今年度の子ども子育て支援事業の中で対応を検討する

Q 総合型地域スポーツクラブ設立の目的は

A 健康づくりと仲間づくりである

Q 公営住宅建て替え計画に変更はないか

A 現在、計画の変更は考えていない

年度末で「安心すまいる事業」が終了するので、次年度からこの事業を拡充し、事業内に住宅リフォーム助成を取り入れる。ただし、住宅以外の居住環境の整備への助成は行わない。

健全な遊び場の整備を



西内陽美 議員

**質問** 子どもが他者と様々な体験や感情を共有しながら社会性を養っていくには、遊びの場は欠かせない。

人格が形成されていく乳幼児期からの健全な遊び場の整備についてどう考えるか。子どもや保護者たちの「雨天時や冬期間、屋内で遊べる場所が本町にはない」という声は行政に届いているのか。

**町長** 「屋内で遊べる場がない」との声は、子育てに関するニーズ調査により把握しているもので、それを踏まえて、今年度からスタートした「子ども子育て支援事業計画」において、対応を検討したい。

ちなみに、雨天時の児童館の利用は89人で、利用予定数100人を超えておらず、時間を区切って譲り合いながら利用しているので不足はない。

3歳未満の幼児は児童館内に併設している子育て支援センターで、小学生の下校時間まで自由に遊べる。

**再質問** 子育て支援センターは、土・日・祝祭日は閉館しており、保護者の休日には使えない状況。また、「子ども子育て支援新制度」により、今後児童館を利用する子どもが増えていく事が予想される。

児童館の増築ではなく、改善センターなど既存の施設の活用も考えてはどうか。

**町長** 改善センターのホールは窓がなく健全な遊び場としてはふやわしくないと考えている。

自由にいろいろな場所で遊ぶ事が親子のふれあいであり、スキンシップになると考える。子育て世代の仲間づくりは、保護者同士で広げていただきたい。

まずは、キャッチボールや、スキーなど体を使って遊ぶ事を基本にしていきたい。

スポーツを定着させるには

**質問** 今年度の設立を目指す「総合型地域スポーツクラブ」に期待する効果は。また、高齢者が参加しやすい場所、交通の便の確保に配慮されるか。

**教育長** このスポーツクラブに期待する効果は、「健康づくり」と「仲間づくり」である。さらに、新たな「コミュニティづくりをねらいとしている。

スポーツ教室の開催は、スポーツセンターを想定しているが、対象者や内容によりゆめりあや、改善センター等も考えている。

交通の便については、今年度の結果を踏まえ検討する。

**再質問** 冬期間のスポーツ活動の場として、使用料を払って町外の施設で練習している少年団がある。町内唯一の土の練習場である中央体育館と、旧大和小体育館を整備しては。

**教育長** 中央体育館は町外者の利用もある。大和体育館とともに古いが使える間は有効に使っていただきたい。早めに利用の申し込みをし、施設を活用してほしい。

公営住宅建て替え計画は



進藤久美子 議員

**質問** 新十津川町公営住宅等長寿命化計画には、さくら団地の建て替え計画の時期が平成33年と記載されているが、現在も変更がないか伺う。